学校番号	３０７

令和８年度　スポルト科

教科	スポルト	科目	総合スポーツ発展	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

同時に開講をしている総合スポーツ基礎の２年生とともに、合同で授業を行います。専門種目の基本的動作や基本技能を踏まえ、運動を発展的、合理的、計画的に実践できる能力を育てます。また、自ら課題を発見し、仲間と協力して課題解決に取り組むとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を育成することをめざします。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
専門性のある種目に知識の習得や興味、関心を持ち、自らが主体的に意欲を持って取り組むことができる。

【思考力、判断力、表現力等】
自信や意欲を支える自尊感情や自己肯定感を高めることにより学校行事や部活動だけでなく、日常の学習面など何事にも積極的に物事に取り組む姿勢を生み、自己実現をめざす志を育み、学習面とは違った側面からの取り組みを通して学力の向上を図ることができる。

【学びに向かう力、人間性等】
忍耐力、集中力、協調性、社会性、奉仕の精神などを養い、実際の学校生活や社会の中でも生かせる社会性や人間力を身につけ、社会で必要とされる「生きる力」を身につけている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	専門種目の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに，基本的動作や基本技能を踏まえ，発展的，合理的に実践できる能力を身につけることができる。	専門種目についての理解を深め，ルールや技能，戦術などについても学習し，実践力に繋げることができる。 また，課題を発見し判断をするとともに，他者に伝える力を養う。	専門的な分野において，主体性を持ち，積極的に取り組むことができる。 また，周囲への配慮やリーダーシップをとることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1・2学期	基礎的実践	オリエンテーション 基礎的実践 (硬式野球・ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ・ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ・ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ)	a:専門種目の基本的動作や基本技能を踏まえ、運動を発展的、合理的に実践できる能力を身につけることができる。 b:専門種目についての理解を深め、ルールや技能、戦術などについても学習し、実践力に繋げることができる。 c:専門分野において、主体性を持ち、積極的に取り組むことができる。また、周囲への配慮やリーダーシップをとることができる。	技能観察	受講態度の観察	受講態度の観察 ノート レポート など
	発展的実践	発展的実践 (硬式野球・ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ・ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ・ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ)	a:専門種目の基本的動作や基本技能を踏まえ、運動を発展的、合理的に実践できる能力を身につけることができる。 b:専門種目についての理解を深め、ルールや技能、戦術などについても学習し、実践力に繋げることができる。 c:専門分野において、主体性を持ち、積極的に取り組むことができる。周囲への配慮やリーダーシップをとることができる。	技能観察	受講態度の観察	受講態度の観察 ノート レポート など

3学期	総合的実践	総合的実践 （硬式野球・ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ・ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ・ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ）	a:専門種目の基本的動作や基本技能を踏まえ、運動を発展的、合理的に実践できる能力を身につけることができる。 b:専門種目についての理解を深め、ルールや技能、戦術などについても学習し、実践力に繋げることができる。 c:専門分野において、主体性を持ち、積極的に取り組むことができる。周囲への配慮やリーダーシップをとることができる。	技能観察	受講態度の観察	受講態度の観察 ノート レポート など

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度